

会社概要



▶ 会社名 Treasure Data, Inc.

♦ 設立 2011年12月

◆ 住所 米国本社 2565 Leghorn St., Mountain View, CA 94043 United States

東京支社 東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビル6F

◆ 代表者 Co-Founder 兼 CEO 芳川 裕誠

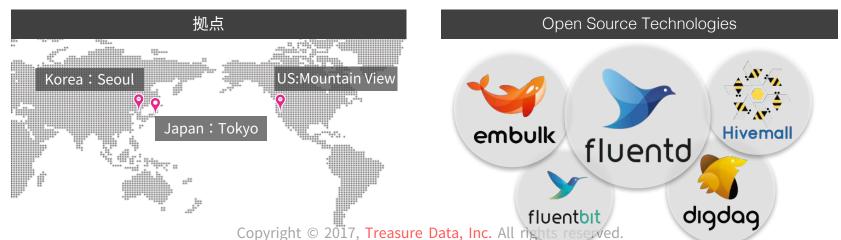
◆ 主要投資家 ・IT-Farm, AME CLOUD VENTURES (Yahoo! INC, Founder, JerryYang)

SIERRA VENTURES (Exit: Greenplum, TERADATA, etc)

• SCALE Venture Partners (Exit: box, OMNITURE, ExactTarget, HubSpot, JASPER SOFT, etc)

・SBIインベストメント,産業革新機構

資金調達 \$54million↓ 従業員数 約130名



創業メンバー



Hiro Yoshikawa

CEO



早稲田大学在学中より、Red Hat, Inc.に勤務。エンジニアとしてキャリアをスタートし、教育事業、 製品マーケティング、事業開発を担当。2009年、三井物産のベンチャーキャピタル事業 「三井ベンチャーズ」のメンバーとして米国に渡る。オープンソースソフトウェア企業への投資・経営に 携わった経験を生かし、2011年、米トレジャーデータ社を起業、最高経営責任者(CEO)に就任、現在に至る。 Red Hatにおけるオープンソースソフトウェアの事業経験や米国での事業経験を活かし、 トレジャーデータの経営全般にかかわる責任者として活躍中。

Kaz Ohta

CTO



高校時代から、Linux上のデスクトップ環境KDEのコミッターとしてOSSコミュニティに貢献。 2006年、東京大学理学部情報科学科に在学中に、株式会社プリファードインフラストラクチャー(PFI)の 最高技術責任者(CTO)に就任。同社に在籍期間中にHadoopに出会い、2009年に「Hadoopユーザーグルー プジャパン」を創設。現在、登録者数は1,700名を超え、世界最大規模のHadoopのコミュニティになっている。 2011年に同社退社後、米国にてトレジャーデータ社を起業し、最高技術責任者(CTO)に就任、現在に至る。

Sada Furuhashi

Chief Software Architect

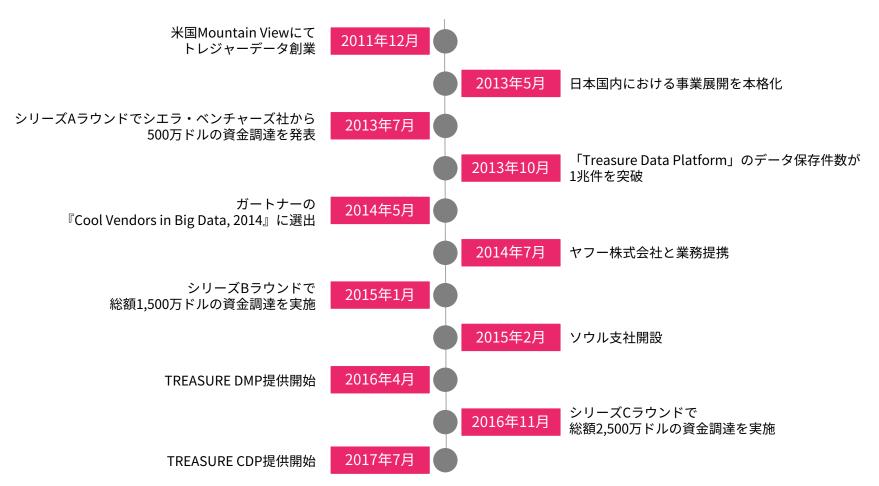


2012年、筑波大学大学院卒業。学生時代、2010年に日本OSS推進フォーラムから「日本OSS奨励賞」を受賞。 また、多言語で通信できる分散インフラ技術「MessagePack(メッセージパック)」を開発。 2008年にオープンソースソフトウェアとして公開し、現在、全世界で利用されている。その後、2011年、 米トレジャーデータ社を芳川、太田と共に起業。Hadoopベースのクラウドデータ分析プラットフォームの構 築および実装を担当している。2011年から、ログコレクター「Fluentd(フルーエントディー)」の開発を開

現在ではWebサービスや広告、CDN等を始めとする全世界で数多くの産業分野で導入され、2014年、Google Cloud Platformのログコレクタとして標準採用されている。2015年「Embulk(エンバルク)」の開発を開始。 Copyright © 2017, Treasure Data, Inc. All rights reserved.

沿革





300社以上にものぼる顧客のデータが TREASURE DATAに





100,000,000,000,000

90,000,000,000,000

80,000,000,000,000

70,000,000,000,000

60,000,000,000,000

50,000,000,000,000

40,000,000,000,000

30,000,000,000,000

20,000,000,000,000

10,000,000,000,000

C

27:70

2012.01

3

~013°C

0131

2024.0

31A10

3075.0.

7/2

-076,

2018/10

20

2017.0k

トレジャーデータが実現するデジタル戦略





ビジネスとデータソリューションの融合

広告・マーケティング・CRM部門とデータソリューションの融合が、 データを活用したパーソナライズを軸としたデジタルトランスフォー メーションを実現する

広告

マーケティング

CRM



TREASURE

データソリューション

データ活用の5つの目的

自分たちの顧客を理解する

セグメントを分ける

適切にコミュニケーションを取る

ROIを計測する

クイックに繰り返す

TREASURE CDP





トレジャーデータが取り組む セキュリティ・コンプライアンスプログラム













Privacy Shield Registered

Compliance with EU Privacy Laws

General Data Protection Regulation

Treasure Data to meet regulation before required date of May 2018

TRUSTe for Privacy Shield dispute resolution

ISO 27001 Certified. Certificate number: 006-022817-001
Internationally recognized. Risk based framework

Favorable SSAE 16 SOC 2 Type II audit completed and performed by external auditors

Services based control framework



顧客理解のための技術とデータ





TREASURE DATA

1st Party

Cookie, ADIDベースで 自社のログ



2nd Party

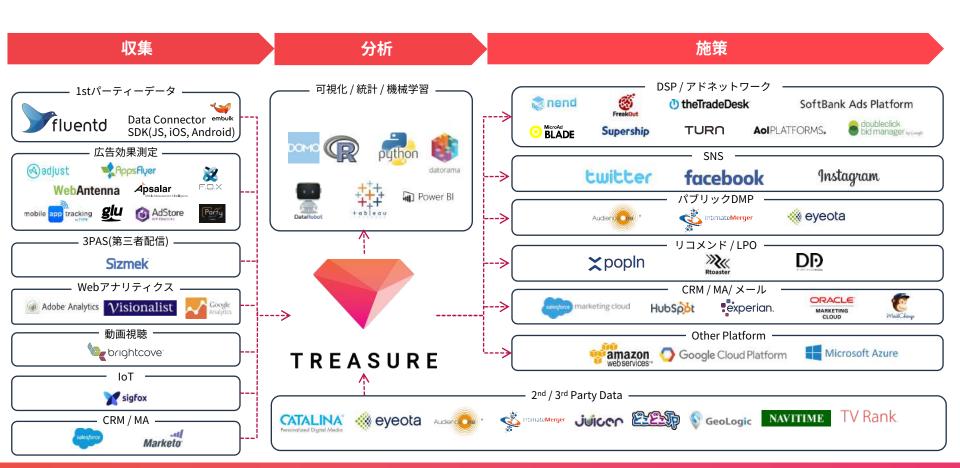
TDの顧客同士で連携 したデータ



クラウドサービスのエコシステム



データ連携を軸としたシステム連携によるデータ活用



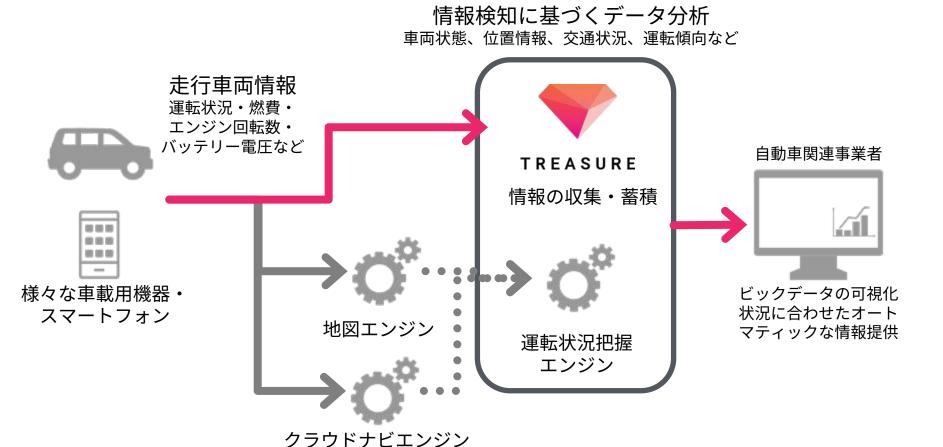
主要導入実績:国内250社超





パイオニア:テレマティクス





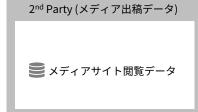


watashi[†] 資生堂:ワタシプラス

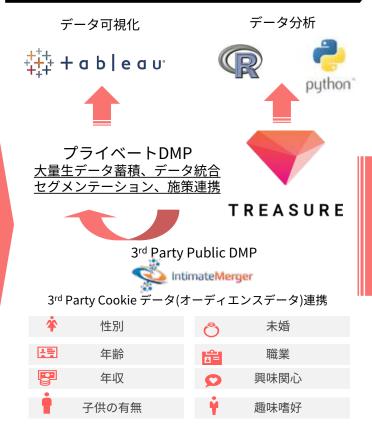








データ統合 / 可視化 / 分析 / 連携



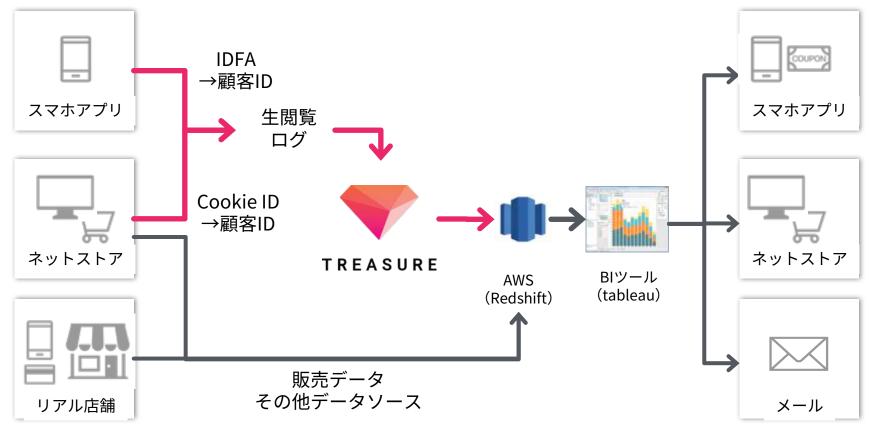
施策





■ 良品計画:MUJI PASSPORT

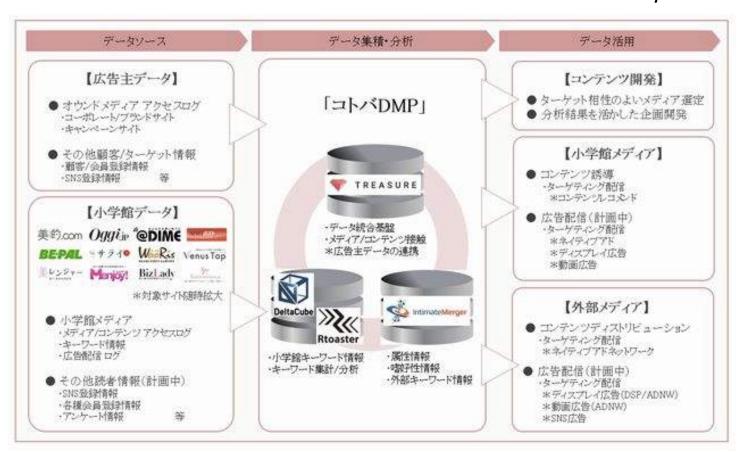




小学館:「コトバDMP」



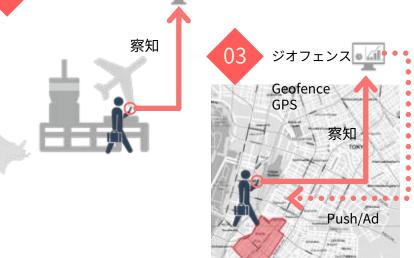
・複数のサイトのオーディエンスログをTDに集約/統合

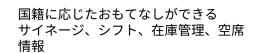


事例:インバウンド(訪日外国人)ターゲティング











- コンバージョン測定
- |・ 店員に来店を通知
- 他言語サイネージ切替

